



びわ湖トラスト事務局便り ～活動報告～

2010年12月1日発行 NPO法人びわ湖トラスト高島事務局

〒520-1621 滋賀県高島市今津町今津448-48

琵琶湖水環境学習会(2010年9月5日～7日)

～第1回湖上実習が無事終了しました。～



この事業は競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて実施しています。

びわ湖トラストでは、今年9月～来年3月の期間、2010年度日本財団助成事業として「琵琶湖水環境学習会」を実施しています。

=====
昨今、環境問題が騒がれる中、私たちのまわりではその実体を正確に把握できているとは言い難いのが実状です。日本最大の面積を誇るびわ湖も、現在さまざまな問題を抱えており、幅広い分野からの分析、解決方法が求められます。そこで、今回私たちは、大学を超えたネットワークで、今後のびわ湖の水環境に関して考える機会をつくるべく、大学生・大学院生を対象とした湖上実習や討論会を開催します。(琵琶湖水環境学習会ポスターより)

=====
その第1回目として全国から大学(大学院)生を募集して、9月5日(日)～7日(火)に2泊3日で湖上実習や水草刈り体験等を行いました。

初日は夕方大津市内の宿舎に集合。今回は12名。夕食後、簡単な自己紹介、オリエンテーション、活動グループごとに改めて自己紹介や参加動機などお互いに話し合いました。参加動機他、自分の研究している事を他のメンバーにわかりやすく説明しているところが見られました。

2日目は、大津港より琵琶湖汽船の環境学習船「megumi」に乗船し1日湖上実習。

3日目は琵琶湖環境科学研究センターの裏あたりの湖岸にて水草刈り体験。初めは、おそろおそろ、水に入ってしまった学生たちも、時間が経つにつれ、ドンドンと水草を取っていました。

台風4号が接近して天候が心配でしたが、野外活動中は晴天に恵まれました。午後からは、びわ湖大津館にて次回(来年2月28日～3月3日)の学習会の最後に行う討論会に向けてのグループ分けをし、その後レポート作成に向けてのディスカッションをしてもらいました。現在、参加学生から第1回目の学習会の事後レポートや、グループレポートが届いています。

「megumi」をバックに記念撮影
(9月6日 大津港にて)



事務局長交代のご挨拶

会員の皆さま、こんにちは。

2007年びわ湖トラストの準備会を発足して早くも足掛け4年となります。

地球温暖化で、私達の身近で大切なびわ湖が異変を起こしつつあること。世界的にも湖沼をはじめ様々なところで、温暖化の影響が出ていることなどなど、またこれに危機感をもち多くの皆さんが行動を起こしていること。びわ湖トラストの事務局長を努めさせていただき、大変勉強になりました。

この間、この活動に係っていただければとても知り合えなかったたくさんの方々・企業の皆さんにご縁を頂きました。

ただの主婦から、事務局長という大任でした。精一杯活動をしたつもりでしたが、空回りもあり、ご心配もおかけしました。

びわ湖トラストが次のステップへと進み、新に環境を大切にすることが出来ますよう祈っています。

私事、4期で事務局長を高木順氏へ引継ぎ、理事となることが承認されました。長年、いろいろとありがとうございました。私は、おおざっぱな人格ですので皆さんにささえられた、楽しい思い出を作ることができました。

高木氏は、明るく緻密な人柄なので、びわ湖トラストを、きっとその方向へ繋いでくれると思います。

皆さまのご健勝を心からの祈りつつ、感謝を込めて事務局長退任のご挨拶を申し上げます。

新事務局長よりご挨拶申し上げます。

琵琶湖に感謝している会社を、感謝の気持ちで定年退職し、この度は琵琶湖に感謝の気持ちで、NPOびわ湖トラストの事務局長の大役を謹んでお受けいたしました。

このNPOの設立時から、常に前向きな山内さん等は琵琶湖の美化などの判りやすい市民活動を展開され、かつ西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部様から大口の寄付を頂いたことも相まってこのNPOの基盤をここまで立派に築かれました。ところが山内さんの他業務が多忙になりこちらに出番が回ってきたとのことです。

このNPOに参画したたきっかけはロボット淡探が映し出したありありとした湖底の様子でした。すなわち温暖化の影響もあり酸欠でメタンが湧き出したドロのような南湖の泥底で、表面からでは判らないが、内実はかなり深刻な状況になっていることにショックを受け、孫の世代がまごつかないよう、何とかしなければとの思いが突き動かしたからです。

いまま琵琶湖は地球温暖化のカナリヤ役として警告しているように思われます。この兆候を継続して捕らえみんなで汗と知恵をだし大事に至る前に何らかの処方箋を導き出し、NPOならではの活動をさらに飛躍させ、琵琶湖とその水域の保全に微力ながら貢献出来るように励みますので、よろしくご指導ご鞭撻をお願いします。

感謝をこめて

山内 陽子

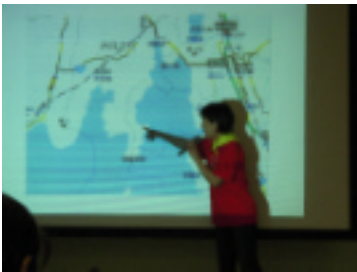
2010年10月

高木 順

煌く滋賀の環境フェスタ2010に参加 地球規模で考えて出来る事から始めよう

真夏の炎天下、びわ湖トラストでは日本青年会議所近畿地区滋賀ブロック協議会さんの招きで、煌く滋賀環境フェスタ2010に参加しました。昨年守山市で開催したびわ湖トラストの事業で守山沖湖底のゴミ引き上げ調査がご縁での参加でした。

出展ブースにて活動内容の紹介を行いました。活動報告会では、びわ湖トラストが始まった経緯、淡探はっけん号の運行の応援活動・委託事業でこどもの琵琶湖研修を行っていること。守山市や長浜市で行った湖底や漂着ゴミの回収分別調査の活動などの報告を行いました。参加している他団体のNPOさんなどから、活動資金をどのように集めているのか？集めたゴミの処理はどうしているのか？等活発な質問がありました。



瀬田川から天ヶ瀬ダムまでのゴミの回収事業を行っている「瀬田川リバプレ隊」さんから、いっしょに活動をしたいと申し出がありました。びわ湖で繋がっていけると嬉しいことです。

その他の発表では、守山幼稚園のホタルの飼育や美化活動・草津天井川環境保全活動の報告などがありました。びわ湖トラストの会員さんのヘルプがあったり、最年少会員の地引網参加があったりで、暑さで消耗しましたが、楽しい一日でした。

日本青年会議所近畿地区滋賀ブロック協議会の環境への思い

この環境フェスタでは、多くの子供たちに実際に自然と触れ合い、「聞く」、「見る」、「触る」ことによって自然環境の大切さや、生物の多様性を実際に体験して、県内で活動している多くの環境NPOの活動や成果を会場に展示することで参加者にとって新たな環境活動を知るきっかけとなり、より一層の環境に対する意識の向上に繋がるものと考えます。



紙芝居 まけないでクロちゃん



山内事務局長作製の紙芝居「まけないでクロちゃん」を木陰で披露しました。

美しい地球の色ぬりが大好きなクレヨンの兄弟たちはそれぞれ得意な色ぬりで、砂漠で大暴れ

して自然を破壊するスナングに立ち向かいます。さて、どのようにしてスナングをやっつけるのでしょうか？皆さん食い入るようにお話を聞いていました。

明るい社会づくり運動協議会 滋賀支部にて活動紹介

近江八幡市のNPO法人明るい社会づくり運動滋賀県協議会様より第22回総会の基調講演の依頼をいただきました。小川理事と山内事務局長二人でびわ湖トラストの活動を紹介しました。平成10年12月8日に滋賀県で最初にNPO法人を取得した団体で現在750名の会員さんで構成されています。

活動方針は「共に生きる」人と自然に思いやりの心

これには自らの生き方を正し、社会を明るくしようという志を同じくし、社会の一隅を照らす人を一人でも多くつくるという理念の基に、更なる活動を継続していく為に、活動目標を設定し事業の推進を図り、取り組んでいっしょにやります。

つづらお崎周辺びわ湖漂着ゴミ回収分別調査

湖底遺跡やシラサギの棲かて有名なつづらお岬周辺の水辺に、大型の家電製品やタイヤその他建築資材・農業資材などの漂着ゴミが散乱しています。水の汚染はもちろんのこと、プラスチックゴミなど水鳥が飲み込み、死んでしまう場合があります。「びわ湖といきもの」の健康とまちづくりを目的に下記の要領で、第2回漂着ゴミを回収し、どんなゴミが多いか分別調査し記録に残しました。



尾上漁港から船に乗ってつづらお崎へ上陸して漂着ゴミ回収活動開始

昨年と同じように数は減ったものの冷蔵庫やタイヤなどの大型ゴミもいくつかありました



総勢130人も皆さんにびわ湖漂着ゴミ回収分別調査に参加していただき、ありがとうございました。